

青パト活動を応援する情報発信マガジン

ビッグ★ブルー

第13号

平成29年11月21日発行
発行：山形県警察本部

青パト活動で青少年を温かく見守る ～東根地区青少年健全育成の会「しろみず会」～

私たちが活動する地域は、東根市内の東根地区で、市の中心部となります。近年は、県内初の公立中高一貫校である東桜学館高校が開校したほか、中央運動公園、まなびあテラス（図書館、美術館、市民活動支援センターの複合文化施設）が次々と整備され、人の流れが大変多くなっています。その目まぐるしく変化する地域の中で、青少年の見守りや防犯活動を行っています。

私たちの団体は、地域の青少年健全育成活動の中核となるボランティア団体として、昭和59年5月10日に発足しました。現在、会員数は29名で、東根地区内の4つの小・中学校の教員やPTA、東根交番の方々と協力しながら活動を行っております。特に、毎月5日と20日は、地区内の駅や公園、大型商業施設を巡回し、非行防止や犯罪未然防止を目的とした青少年への声かけを行っています。また、村山警察署が行う110番の日のイベント、自転車盗難防止対策「キーつけっぺ作戦」、小・中学校の薬物乱用防止教室にも積極的に参加しております。



会員一丸となった青パト活動を展開し、地域貢献を目指す！



私たちは、平成26年3月、会員全員が青パト講習を受講し、同年4月から青パト活動を開始しました。当初、団体で保有する青色回転灯は1基のみでしたが、その後、会員の自費購入や寄贈により、12基まで増え、会員一丸となった青パト活動を実施しています。

現在の青パト活動は、河川敷で花火をしていた高校生に声かけして帰宅を促すなど、青少年の見守りを中心に行っております。しかし、今後は、青少年の見守りだけでなく、地域の安全安心のシンボルとなれるような青パト活動を展開して地域社会に貢献していきたいです。

（文～東根地区青少年健全育成の会「しろみず会」 青柳初夫）

【編集後記】 今年も間もなく冬です。気温も低くなり、日が暮れるのも早くなってきました。冬が近づくにつれて、天候が悪い日も多くなってきます。体調管理と交通事故には十分注意して活動をお願いします。さて、昨年度開催しました「山形県青パトフォーラム」を今年度（平成30年2月）も開催する予定です。詳細が決まりましたら、ご案内いたしますので、昨年同様、多数の参加をお待ちしております。

【山形県内の青パト情勢】
（平成29年10月末現在）
団体数：160団体
実施者数：5,880名
青パト台数：2,173台